

# 自由民主党

菅原 正和 議員

市営バスと市営地下鉄の収支改善に向けた取り組み

**問** 市民の足を守る大切な公共交通として、市営バスと市営地下鉄の収支改善を速やかに進めるべき。今後の新たな取り組みを伺う。

**答** 市営バスの便数調整や運賃改定、市営地下鉄の駅業務委託の拡大等を予定しているが、さらなる取り組みが必要と認識しており、厳しい経営状況で収支に与える影響

響が大きいイスクラポイント制度の見直しの検討が必要と考えている。新たな津波浸水想定への対応

**問** 県の新たな津波浸水想定で浸水が想定される地区の世帯・人口について伺う。併せて、地域ごとの避難計画等の見直しと市民への周知方法について伺う。

**答** 概算で最大1万9千世帯、4万人を見込む。8月から説明会を開催して避難方法の周知を図り、11月に避難訓練を実施する。その他の主な質疑項目

○補正予算編成のポイント  
○デジタル商品券の対応感とは  
○給食の材料費高騰への対応  
○家庭ごみ等指定袋の値上げと在庫枯渇  
○市立高校への情報端末整備方針

○交流人口の回復・拡大に向けた取り組み  
○女性・若者活躍推進会議について  
○福島県沖地震被害へのグループ補助金活用促進、仙台城跡復旧の進捗への評価と意義

**問** 隠れ待機児童、兄弟姉妹別施設入所の対応と欠員問題の認識

過去に数量限定で販売されたicscaバスキャラクターカード

# 公明党

佐々木 真由美 議員

これまでの新型コロナ対応と今般の国際情勢への見解

**問** 2年以上に及ぶ新型コロナの影響、また、今般のウクライナ危機等による原油価格や物価の高騰への対応について市長に伺う。

**答** 感染拡大防止への市民や事業者の努力により、交流の活性化など明るい兆しも見える一方、ウクライナ情勢を背景に社会経済の先行きは不確実性を増している。

市民の安心と健康を守ることは重要な責務と考えており、変化し続ける社会情勢に適切に対応し、なから、まちの持続的発展に力を尽くす。

**問** 地方創生臨時交付金について、学校給食費保護者負担拡大の抑止、市民生活や中小規模事業者に対する支援など、本市経済を支えるのに機能する使い道が求められるが、その対応方針を伺う。

**答** 生活者と事業者の両面を支援するための予算案を編成し、子どもや高齢者、障がい者等に対する健康な食の確保に向けた食料価格高騰への対応や、公共交通事業者への運行継続支援、商店街等における消費喚起等の施策に重点

的に配分した。今後も地域経済の動向等を注視しながら、市民や事業者への支援に全力を傾注する。その他の主な質疑項目

○宮城県津波浸水想定に係る対応  
○家庭ごみ等指定袋管理費について  
○ワクチン4回目接種の取り組み  
○帯状疱疹ワクチンの助成と周知  
○エコスクール・プラス事業の活用  
○ウクライナ避難民のさらなる支援  
○青葉山エリアの魅力発信

地方創生臨時交付金を活用して学校給食費保護者負担拡大の抑止を

# 市民フォーラム台

細野 たかし 議員

いじめ重大事態への対応

**問** 令和3年12月に発生したいじめ重大事態に対し設置された第三者による調査委員会の委員選出に時間がかかり過ぎている。今後どのような調査や支援を行うのか。

**答** 外部の専門家を交えた学校いじめ調査委員会設置のため、委員の選出等に時間を要したが、いじめ事案への対処はスピード感が

重要だと改めて認識している。現在調査委員会で調査、検証を進めており、今後も学校との連携を密にし、当該児童および保護者の意見や要望を確認しながら、調査委員会が公正かつ適正に調査、検証を進めることができるよう支援していく。

**問** 本市の課題だった待機児童の解消は高く評価する。一方、いまだに同世帯児童の別園通所の課題がある。ニーズに応えるための取り組みについて、所見を伺う。

**答** 引き続き待機児童ゼロの継続を目指すとともに、魅力ある子育て支援策のさらなる充実を図り、子どもを産み育てやすいためとして選ばれるよう取り組みを進めると、兄弟姉妹の別施設入所について

○学校給食のコスト高騰  
○新型コロナウイルス4回目接種  
○4病院統合再編への本市の姿勢  
○ガス事業民営化のスケジュール  
○さらなるいじめ防止等対策

# 代表質疑

## 本党 日共産党

高村 直也 議員

県からの受水量は

段階的に削減を

**問** 県の広域水道からの受水費は本市の水道水をつくり届ける費用と比べ単価が2.2倍である。民営化で安全性やコストなどについて懸念の声が上がっている県の水道からの受水は段階的に削減すべき。

**答** 県広域水道について、各市町の受水量は算書に基づき一定量に定められており、これを削減す

ることは、料金単価の上昇につながる可能性がある。加えて、県の広域水道は災害発生時などのバックアップとして重要な役割を果たしている。今後とも適切な量を継続的に確保すべく対応したい。

**問** 3月16日に発生した地震による被害に対しては、瓦屋根の改修に補助金を支給している自治体もある。本市も準半壊に至らない一部損壊への支援制度を作るべき。

**答** これまで、発生した災害の態様や被害状況に応じて本市独自の支援策を講じてきたが、今年3月16日に発生した地震について、一部損壊を対象とした独自の新たな支援制度の創設は考えていない。引き続き、現行の各種支援制度の



200以上の検査項目で安全で良質な水道水を提供している茂庭浄水場

周知・活用に努め、被災された方々の支援に取り組む。

**問** 水田活用直接支払交付金の標準単収値を市域内で複数定めよう

**答** 障害者の燃料費助成の増額や情報公開などを強く求めよ

○宅地擁壁の安全対策工事費用の助成要件を緩和すべき  
○非核平和都市宣言を表明すべき

# せんだい自民党

田村 勝 議員

いじめ重大事態認定について

**問** 昨年末に発生したいじめ事案について、重大事態に認定するまで市長に情報が届かなかったことと違和感を感じる。重大事態の認定には市民から選ばれた立場の市長の助言が早い段階で必要だ。教育委員会に改善を求める。

**答** 教育委員会では、児童生徒が連続して3日間欠席し、その理

由がいじめであることを否定できない場合は学校から報告を求めるなど、報告・対応の流れを見直し、市立学校に周知した。早期に情報を収集し、学校へ助言するとともに、時機を逸せず市長に報告する。

**問** 肥料の多くが過去最高水準の価格になっている。肥料価格高騰の影響を受ける本市農業従事者へ早急な支援を求める。

**答** 国において原油価格・物価高騰等総合緊急対策を講じており、今後、資材価格の高騰に伴う影響を緩和するため、さらなる対策を検討することである。本市として、国の動きや物価の状況等を注視しつつ、JA仙台と連携して各種支援策が円滑に運用されるよ



肥料価格高騰の影響を受ける市内農業従事者を救う取り組みを求める

議案に対する各会派の代表質疑の中から主な質疑と答弁の要旨などを掲載しています。

# 市民フォーラム

ひぐち のりこ 議員

過去の新型コロナ対策予算の費用対効果の検証

**問** 予算の中には、新型コロナ対策の名目に乗っかっていられる事業が含まれる。過去の予算は費用対効果の検証をすべき。

**答** コロナ禍での原油価格や物価の高騰により、経済的負担が増した生活者や事業者を支援するため、住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金等の経費を計上した。

既に完了した事業については、適切に効果検証を図り、公表できるように準備を進めている。

**問** 職員が緑化行政技術継承の方策と市民協働で育んだ緑を守り次世代に継承する取り組みを伺う。

**答** 多くの市民が愛着と誇りをもつ街路樹の管理を継続的に行うため、剪定講習会への参加や技術研修会の開催等により職員の技術力向上に努めており、今後も育成を進める。また、現在も「ふるさと」の再生プロジェクトの推進や花と緑のアドバイザーの養成等、協働によりさまざまな形で緑の管理に関わるまちづくりを進めており、次世代へと続く百年の杜づくりを推進していく。



市立学校で選択服の一つとして案内されているジェンダーレス水着

その他の主な質疑項目

○選挙運動用ビラ等公費負担の改定  
○市内の医療提供体制と4病院再編  
○新たな津波浸水想定に対応した保育施設の避難計画と施設づくり  
○指定福祉避難所  
○多様な性の在り方を尊重する施策と子どもへの教育  
○女性の人生設計と家族の多様性を踏まえた少子化対策

## 常任委員会 審議の概要

令和4年6月22日開催

委員会に付託された議案番号を各常任委員会名の隣に記載しています。各議案の名称は、4面の会派別議案番号一覧表をご覧ください。

「○」は付託議案に対する質疑項目

### 総務財政委員会

付託された5議案のうち、第90号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で承認すべきものと決定し、その他4議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○職員退職手当条例改正の理由  
○臨時交付金の活用

### 市民教育委員会

令和4年6月22日開催

付託された4議案のうち、第90号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で承認すべきものと決定し、その他3議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○公立高校における端末整備の目的  
○公費による端末整備の早めの周知

### 健康福祉委員会

令和4年6月22日開催

付託された5議案のうち、第90号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で承認すべきものと決定し、その他4議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○市立病院における非紹介患者初診加算料に関するこれまでの経過

### 経済環境委員会

令和4年6月22日開催

付託された4議案のうち、第90号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で承認すべきものと決定し、その他3議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○製造コストの上昇分をごみ袋の料金に転嫁しないための工夫

### 都市整備建設委員会

令和4年6月22日開催

付託された8議案のうち、第90号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で承認すべきものと決定し、その他7議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

○タクシー事業者への支援は、直接の意見聴取を行った上での提案か

## 議員表彰

永年にわたる市政発展に尽くされた功績により、全国市議会議長会総会において、次の議員が表彰されました。

- 一般表彰(議員在職15年以上) 村上 かつこ
- 高見 のりこ
- 跡部 薫
- 加藤 和彦
- 小野寺 健
- すげの 直子
- ひぐち のりこ
- 菊地 崇良
- 加藤 けんいち
- 渡辺 敬信
- 庄司 あかり

## 意見書

第4号 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の改正を求める件

可決した意見書は、国会および関係行政庁に提出しました。

## 用語解説

本文中に紫文字で表記した用語を解説しています。

●エコスクール・プラス(注1)

(2面6段)

環境負荷低減への貢献だけでなく、児童生徒の環境教育の教材として活用できる。環境を考慮した学校施設であるエコスクールとして、文部科学省、環境省等が連携協力し、市町村等が整備する学校のこと。

●スケアード・ストリート(注2) (4面2段)

実際の交通事故の模様等をプロ

のスタントマンがその場で再現することで、事故の状況や原因を具体的に伝え、交通ルール順守の大切さを実感させることを目的とした交通安全教育の手法の一つのこと。

●ハイリー・センシティブ・チャイルド(注3) (4面4段)

「音や光、においに敏感」、「気を使わずに疲れやすい」など、周りの環境に過剰に反応する、特に繊細な特性を持つ子どものこと。子ども5人に1人が該当するとされる。

●オーガニックベリッジ宣言(注4) (4面4段)

生産から消費まで一貫して有機農業に取り組み、この宣言に係る取り組みは国費による支援を受けられる。

●特定妊婦(注5) (4面6段)

児童福祉法で、出産後の子の養育について、出産前に支援を行うことが特に必要と認められる妊婦のこと。